

平成30年度 行政評価事業別シート

	実計対象 ■	評価対象 ■	新規 □	完了事業 □	ゼロ予算事業 □	担当者	富沢文洋
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	3518
事務事業名	8575 街路整備事業						
所 属	200100 まちづくり推進部・道路河川課						
施 策	06033300 橋や道路整備の推進						
予算科目	会計	01 一般会計					
	科目	080402 土木費・都市計画費・街路事業費					
	事業	010000 街路整備事業					
事業目的				事業概要・効果			
都市計画道路3・5・6号八町線の泉小路の区間について事業実施をする。				八町線の整備により都市防災機能の充足と、市街地における交通混雑の緩和及び交通網の強化がはかられる。 。			

PLAN-DO
年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
臥竜線 工事 八町線 補償調査委託、用地・補償契約締結	臥竜線 工事 八町線 補償調査委託、用地・補償契約締結
平成29年度 実績	平成30年度 予定
八町線 補償調査委託、用地・補償契約締結 工事	八町線 用地工事
平成31年度 予定	平成32年度 予定
八町線 用地工事	八町線北原工区測量設計補償調査委託、用地、補償

指標名	用地締結件数				
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	-	-	-	-
	実績	0	165		
指標選定の理由	事業促進や早期完成からの策定				
最終年度目標の根拠	実施計画及び国の交付金等から算出				
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		227,483	80,030
特定財源	国庫支出金	168,660	44,000
	都道府県支出金	0	0
	地方債	124,200	32,400
	その他	0	0
一般財源		△65,377	3,630
人員数(人)	正規職員	2.3	0.8
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	16,442.7	5,719.2
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	16,442.7	5,719.2
市民一人当たりの経費		4.7	1.6
総額		243,925.7	85,749.2

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	499	補償調査算定業務
15節 工事請負費	37,606	工事請負費
19節 負担金補助及び交付金	10	全国街路事業促進協議会負担金
その他	189,368	立木等補償

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	70,010	工事請負費
19節 負担金補助及び交付金	10	全国街路事業促進協議会負担金
その他	10,010	立木等補償

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	都市部の交通混雑解消、交通網の充実、防災機能を図る	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	一定区間の整備が図られ、交通網の機能が向上している	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	国の交付金を活用して事業を行っている	

振り返り（決算年度の取組み課題）

事業区間の用地補償契約がほぼまとまり、本格的に工事に取り組んだ。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
工事を実施し、安全・安心で快適な道路整備の推進を図る。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
工事の進捗により、安全・安心で快適な道路整備を図る。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	